

一般入試前期A日程2日目

英語

I

■出題のねらい

スノーボードに来た友人同士の日常的な会話の内容を正確に理解する問題です。会話に使われている単語や構文は基礎的なレベルなので、落ち着いて会話の展開を適確に捉えましょう。山頂にたどり着くための方法や、バスとゴンドラの乗り場、朝食をとっている場所、ホテルの位置関係を会話から読み解くことで、正答率はアップします。

■採点講評

全体的な正答率は高くなっていました。□4は本文の中では Steve と Jay が明確に同意を確認しあっている表現は用いられていませんが、双方反論なしに会話が進んでいるトピックを見つけてください。また、□5の全体の内容把握の問題では、登場人物らの行き先を時系列で正しく把握する必要があります。

II

■出題のねらい

案内ポスターの形式で書かれた英文の内容（古城ツアーの案内文）を正確に理解する問題です。項目ごとに分かれてはいますが、アクティビティや特別イベント、古城への行き方、注意事項など、内容は多岐にわたり、情報量も多いので、解答の際には一つ一つ整理しておく必要があるでしょう。難易度の高い単語も登場しますが、案内文であることを踏まえ、文脈に沿って推察しましょう。

■採点講評

□6と□9の正答率が25%に満たず、難しかったようです。□6の置き換え問題は、空所のある文の最後の部分に **after years of closure** という表現がありますので、前後の状況から考えて、古城ツアーが再開したと予測できます。□9の①については、注目すべきは **Access to the Castle** の部分ではなく、冒頭の **Experience Medieval History** の後半部分です。

III

■出題のねらい

日本における睡眠時間と仕事効率に対する関心の高まりについて書かれています。日本における睡眠と労働に対する意識の変化や、世界で1日あたりに睡眠・労働・飲食に費やされる時間の比較、西洋諸国の豊かな生活に関する考え方とその背景についてです。問題では、前後の文脈から判断して適切な語句を選べるか、グラフを参照しつつ英文を読み、比較された情報を正確に読み取れるか、文章全体が的確に読めているかを問うています。

■採点講評

睡眠という身近な話題なので、全体的に内容把握はよくできているようでした。12は時制と内容の混合問題だったために考えなければならない要素が多く、正答率は30%を下回っていました。14はグラフからの情報と、それを比較級でどう表現するかを考える必要があり、両問とも正答を導くには複合的な判断が必要になります。

IV

■出題のねらい

愛知県のある美術館による、著作権が切れた作品の画像を自由に人々が使用できるようにする取り組みに関する話題です。作品画像の利用方法、背景にある美術館の信念、自由化する際の作業、実際に自由化してどのようなメリットがあったのか、などを正確に読み取れるかどうか問われています。前後の文脈と矛盾がないように内容を捉えて、正確な解答を導き出しましょう。

■採点講評

(1)の空所埋め問題では、関係代名詞を入れる16の正答率が低かったです。所有格の関係代名詞 whose はあまり登場する機会が多くありませんが、他の格の関係代名詞と合わせてしっかり文構造を理解しましょう。著作権についての内容であり、多くの受験者にとって馴染みのないものだったためか、内容把握の問題の正答率も高くありませんでした。特に(8)で2問とも正答を選択できた受験者は9.5%とかなり低くなっていました。登場する単語自体の難易度が高いわけではありませんので、慣れない話題でも落ち着いてしっかりと読み解いていきましょう。

V

■出題のねらい

(1) は基本的な構文力と文法力を問う問題です。ただし、文脈を考慮しなければ正答にはたどりつけない問題も含まれていますので注意が必要です。(2) は英文全体の内容が把握できているかどうかを問う問題です。「招き猫」という馴染みのあるテーマですが、本文をじっくり読み正答を見つけ出しましょう。

■採点講評

扱う内容自体は身近なものですが、全体的な正答率は低くなっていました。(1) では、**making** や **whether** (これらが誤りの選択肢) など、「目立つ」ものは誤りではないと見なしてしまう傾向があるのではないかと感じます。内容把握についても、身近な話題ということがあだとなり、細かい部分まで読む意識が薄れてしまったのかもしれませんが、30 の正答率は25%を割っていました。